

平成24年行政事業レビューシート (法務省)

事業名	地域生活定着支援の推進		担当部局庁	法務省矯正局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度		担当課室	総務課		総務課長 富山 聡		
会計区分	一般会計		施策名	II-5-(1)矯正施設の適正な保安警備及び処遇体制の整備 II-5-(2)矯正施設における収容環境の維持及び適正な処遇の実施				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	刑事収容施設及び被収容者等の処遇に関する法律等		関係する計画、通知等	犯罪に強い社会の実現のための行動計画2008				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	刑務所出所後の自立した生活の困難な高齢受刑者や障がい等を有する受刑者が、出所後直ちに福祉サービスを受けられるようにするため、刑務所に社会福祉士・精神保健福祉士を配置し、保護観察所や地域生活定着支援センターと連携して、出所後の自立した生活基盤を確保することにより再犯防止を目的としている。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	高齢受刑者や身体等に障がい等を有する受刑者は、出所後、生活基盤が安定していないため短期間のうちに生活苦に陥り、再び犯罪を犯すおそれが高いことから、出所後直ちに福祉の支援を受けられるように、刑務所に社会福祉士の資格を有する者を配置し、①支援が必要な受刑者の選定、②当該受刑者の福祉ニーズの把握、③当該受刑者が行う福祉サービスの申請手続に対する支援等を行う。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		当初予算	233	344	336	394	398	
		補正予算	0	0	0	-	-	
		繰越し等	0	0	0	-	-	
	計	233	344	336	394	398		
	執行額	233	335	335	-	-		
執行率(%)	100.0%	97.4%	99.7%	-	-			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(24年度)	
	社会福祉士等による面接、調整等実施人員(年次) なお、本事業は平成21年度から開始したところであり、実績も乏しいことから、現時点で定量的な成果目標を示すことは困難である。		成果実績	件	上半期:1,105 下半期:1,105	上半期:1,382 下半期:1,726	上半期:1,919 下半期:2,076	-
			達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	福祉による支援を必要とする刑務所出所者等の福祉のニーズの把握、保護観察所等との連絡調整等の地域生活定着支援を実施している。		活動実績(当初見込み)	施設	59施設	64施設 (64施設)	64施設 (64施設)	- (64施設)
					59施設	(64施設)	(64施設)	(64施設)
単位当たりコスト	83,979(円/人)		算出根拠	平成23年度実績額335,495千円/平成23年度調整等実施人員3,995人				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	その他	40	43	地域生活支援事業の充実を図るための社会福祉士等の配置拡大による増				
	外部委託	342	343	地域生活支援事業の充実を図るための社会福祉士等の配置拡大による増				
	その他	12	12					
	計	394	398	※「日本再生戦略」関連施策(重点要求) 38				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	受刑者等の地域生活定着支援であり、その実施主体は国にあり、出所者等の再犯防止に繋がる地域生活定着支援は広く国民の利益となる。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	受刑者等の地域生活定着支援に繋がる社会福祉士等の雇用や職員の研修実施に必要な教材等の整備、関係機関等の連絡調整に必要な経費の支出である。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	高齢・障がい等により、特に自立が困難な刑務所等出所者に対し、出所後に福祉サービス等を受けられるよう、特別調整等の実施件数を伸ばしている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	※類似事業名とその所管部局・府省名 厚生労働省	
点検結果	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	刑務所に配置する社会福祉士、精神保健福祉士については、ハローワーク等を通じて公募を行った上、各施設において非常勤職員として採用し、高齢受刑者や障がい等を有する刑務所出所者等が出所後直ちに福祉サービスを受けられるように、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第26条による都道府県知事への通報、保護観察所や地域生活定着支援センター(平成24年3月末 全都道府県に設置済)等関係機関との特別調整対象者(平成23年9月末までに882名が出所)等に係る連絡調整、療育手帳や身体障害者手帳等の福祉サービスの申請などの地域生活定着支援事業を適正に実施しており、円滑な社会復帰、再犯防止に寄与している。 平成23年度からは、地域生活定着センターが全都道府県に設置されたことから、社会福祉士の配置の拡充を行った。
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		地域生活定着支援体制の見直しについて検討を行うとともに、社会福祉士及び精神保健福祉士の雇用経費を見直すなどして適切に予算に反映すべきである。	
		上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)	
縮減		所見のとおり、社会福祉士及び精神保健福祉士の手当の見直しにより、経費を削減した。 (▲24百万円)	
		補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)	
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0039	平成23年行政事業レビュー	0036

法務省
335百万円

〔高齢や障害により自立が困難な刑務所出所者等に出所後福祉サービスを受けられるようにするための、社会福祉士等の配置、研修用教材の整備等〕

【本省からの予算配分】

A. 矯正施設（64庁）
335百万円

〔社会福祉士等の配置〕

【一般競争契約】
【随意契約・公募】

B. 個人
331百万円

〔社会福祉士、精神保健福祉士の配置〕

【旅費の支給】

C. 職員等
4百万円

〔保護観察所等関係機関との連絡調整等〕

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：百万円）

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
一	各会計機関への予算配布	335			
計		335	計		0
B.個人			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
賃金	社会福祉士の配置	4			
計		4	計		0
C.個人			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	被収容者への福祉的支援を実施するための社会福祉士の配置	4	公募	—
2	個人B	被収容者への福祉的支援を実施するための社会福祉士の配置	4	公募	—
3	個人C	被収容者への福祉的支援を実施するための社会福祉士の配置	3	公募	—
4	個人D	被収容者への福祉的支援を実施するための社会福祉士の配置	3	公募	—
5	個人E	被収容者への福祉的支援を実施するための社会福祉士の配置	3	公募	—
6	個人F	被収容者への福祉的支援を実施するための社会福祉士の配置	3	公募	—
7	個人G	被収容者への福祉的支援を実施するための社会福祉士の配置	3	公募	—
8	個人H	被収容者への福祉的支援を実施するための社会福祉士の配置	3	公募	—
9	個人I	被収容者への福祉的支援を実施するための社会福祉士の配置	3	公募	—
10	個人J	被収容者への福祉的支援を実施するための社会福祉士の配置	3	公募	—

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	被収容者への福祉的支援のための、保護観察所等関係機関との連絡調整	0	—	—
2	個人B	被収容者への福祉的支援のための、保護観察所等関係機関との連絡調整	0	—	—
3	個人C	被収容者への福祉的支援のための、保護観察所等関係機関との連絡調整	0	—	—
4	個人D	被収容者への福祉的支援のための、保護観察所等関係機関との連絡調整	0	—	—
5	個人E	被収容者への福祉的支援のための、保護観察所等関係機関との連絡調整	0	—	—
6	個人F	被収容者への福祉的支援のための、保護観察所等関係機関との連絡調整	0	—	—
7	個人G	被収容者への福祉的支援のための、保護観察所等関係機関との連絡調整	0	—	—
8	個人H	被収容者への福祉的支援のための、保護観察所等関係機関との連絡調整	0	—	—
9	個人I	被収容者への福祉的支援のための、保護観察所等関係機関との連絡調整	0	—	—
10	個人J	被収容者への福祉的支援のための、保護観察所等関係機関との連絡調整	0	—	—